

# 議会の責務果たし 諸活動に邁進を

置戸町議会議長 佐藤 純一



輝かしい新年をご家族の皆さまお揃いで迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

年頭に当たり、昨年を振り返りながら、今年一年を平穏に過ごせますことを願い置戸町議会を代表しご挨拶を申し上げます。

東日本大震災から間もなく3年が経とうとしていますが、昨年は3月の暴風雪によりオホーツク管内を含め尊い命が奪われ、その後も日本各地で異常気象によるゲリラ豪雨や竜巻、秋にかけては台風による水害や土石流など全国的に多くの被害がもたらされました。

我が町も春先の雨と低温により農作業が遅れ、さらに、夏には一転少雨となり作物に大きな影響を及ぼし、10月16日には例年よりひと月早い初雪による倒木が災いし、翌日まで全町にわたる停電となり不自由な体験を強いられました。農業や漁業をはじめ、自然は私達の日常生活に大きな恩恵を与えるとともに、時には大きな災いをもたらすということ、長い営みの中で受け止めてきているつもりですが、想定にとらわれない対処の必要性を今回の事故により痛感したところです。

11月7日に開催しました議会懇談会、その後の各地区で行われた地域懇談会にも、今回の停電に対する対応と、さらには危機管理に対する町の考え方について多くの質問や意見があったところです。町として今回の事象を検証し、防災計画の作

成に反映させることにはなりますが、住民の皆さまの安全第一を念頭に置き、議会としても取り組むべき大きな課題とし議論を深めてまいります。

さらに、防災、減災という観点からも昨年からの継続中の置戸中学校の耐震化と改築、簡易水道の一元化、下水道施設の長寿命化計画に続き、役場庁舎とスポーツセンターの耐震化や、橋梁をはじめとするインフラの長寿命化等、新年度に向け大型の予算措置が必要な計画が目白押しとなっております。

行政の努力により財政の健全化についての成果は上がっていますが、平成31年までの第5次置戸町総合計画の中では前述の予定事業のほか、広い範囲にわたる銀河線跡地の整備計画や特別養護老人ホームの改築等議論が必要な事業が続きますので、議会の責務を十分に果たしてまいりたい所存です。

結びになりますが、平成27年に迎えます開町100周年は「讃えよう先人 伝えよう歴史 繋ごう未来へ」のキャッチフレーズのもと、置戸町が次世紀に続く節目として多くの町民の皆さまの参加協力をいただき、今年から2ヶ年にわたる事業となりますが、議会として、町民の一人として私達も積極的に参加し、皆さまと共に祝いたいと思います。

今年も議員一同変わらず議会活動に邁進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。